



大谷の「今」を伝える。「未来」へ繋げる!

(高校花まつり 5/10)

2016.6
vol.200



響存の心根 学校長 飯山 等

このところ、「consider」と「respect」という2語がいつも私の胸に在ります。日本語で言えば「思い遣り」と「尊敬」ということになります。ただ、日本語ゆえにその2語にさまざまな観念を持って

しまっているせいで、それはしっかりと私の胸に入って呼吸してくれない、飲み込んだままの異物のような感じを拭えずにありました。そのようなとき、このconsiderとrespectという2語に出遇いました。

considerとは辞書によれば、その構成が〈con-〉＝〈しっかりと〉＋〈sider〉＝〈星を観察する〉と説明されています。目を凝らしてしっかりとよく見る。すると空に光が、そしてやがてその光と光をつなぐ繋がりが見えてくる。遠くにまで思いを遣る。思いを差し向けて、感じる。「遣る」とは、思いを解き放す、ということ。思いを、私から解き放すのです。そのように、遥か遠くの星のところまで至って思う。そうすることで、その星々は無秩序な散乱ではなく、意味が豊かに展開している場として見開かれ、いわば内なる意味をわれわれに物語ってくる。「思い遣り＝consider」とは、ことを遠くの無関係なことと見なし、一瞥をもって評価するところにはまったく在るはずのないことであり、よく見る、よく聞く、見つめる、耳を澄ます、どれほどの隔りも乗り越えて、心をそこにまで差し向けて感取する、内なる声を聞くところにのみ、生まれ出する念いであるということを教えてくれました。

また、respectとは〈re-〉＝〈振り返って〉＋〈spect〉＝〈見る〉と辞書にあります。ぞんざいな見做しや見切りで評価を下して、目を離してしまう。そのような私が、ふたたび振り返って見る。もう一度向き合ってよく見つめる。そこにあるもの、そうさせるものこそ、尊敬であると教えてくれたのです。さらに辞書にはrespectについて、「たとえ同意できないとしても、その質の良さをすばらしいと認め敬意を払うこと、また、大切にされるべき意見・願望・権利などを重んじること」と説明がされています。深く考えさせられる指摘です。尊敬とは、単にある辞書が説明するような「その人の言動・業績の中に非凡な点のあることを認めて自他の模範に足る存在として仰ぎ見ること」というには尽きない領野を深く広く湛えているのです。「たとえ同意できないとしても」という、自身との闘いを通して、「大切にされるべき」として「重んじること」がはじめて成り立つ。「尊敬＝respect」によって自分が破られ、既存の内から外に踏み出す。私が新たに育てられるということなのだ気づかせてもらいました。

星を観察するように、遠くにまで思いを差し向け、至り届かせてしっかりと見る。これでもう見たと、踵を返して遠ざかろうとすると、否と振り返ってもう一度よく見る。しっかりとよく聞く。そのような「consider」と「respect」を存立の真情として、大谷は存在して参りたいと思っております。